

古河の民俗芸能で元気を届ける 関東ブロック民俗芸能大会

11月27日、埼玉県川越市にあるウエスタ川越で民俗芸能大会が行われ、茨城県を代表して三和郷土芸能保存会諸川支部が出場しました。

大会では、茨城県指定無形民俗文化財に指定されている「三和祇園ばやし」を披露。江戸時代から受け継がれてきた歴史ある太鼓や笛の音色で来場者に元気を届けました。



▲大勢の観客を前に演奏にも力が入ります

社会情勢にも目を向けて 古河市中学生の主張大会



▲各学校の代表生徒

12月9日、野本電設工業コスモスプラザで古河市中学生の主張大会を開催しました。

代表生徒20人が、日常生活や社会の動向、将来の古河市や日本の在り方など、日頃感じている率直な思いや考えを発表。来場者は、生徒たちの真剣で熱い思いが伝わる主張に、うなずきながら聞き入っていました。

みんなで一緒に歌って踊ろう！ 0歳から聴ける わくわくコンサート

12月11日、野本電設工業コスモスプラザでNPO法人ネットワークサポート親楽主催のわくわくコンサートが開催されました。参加者は、オーボエやピアノ、マリンバの演奏を鑑賞したほか、子どもたちに大人気の「拓お兄さんと踊ろう！」のコーナーでは、音楽に合わせて一緒に歌ったり踊ったりして大いに盛り上がりました。



▲音楽に合わせてみんなで楽しく踊りました

巡る門には福来る 7000歩で歩ける 古河七福神めぐり



▲弁財天が祭られている徳星寺を巡拝する参加者

1月8日、古河駅西口周辺に点在する9カ所の神社等を巡る古河七福神めぐりが行われました。

市内外から多くの巡拝者が訪れ、約2時間(3.5km)のコースを自由に歩き、1年の幸福や無病息災などを祈願。参加した女性は「今年こそ笑顔が絶えないすてきな年になりますように」と話していました。

まちの話題 Report!

光り輝く未来へ 自由に翔け!! 古河市二十歳のつどい

1月8日、令和5年古河市二十歳のつどいをイーエスはなもも体育館で開催しました。昨年同様3つの地区ごとに時間をずらして開催するなど、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して実施。

1,337人の対象者のうち、当日は1,052人が色鮮やかな振り袖や羽織袴、スーツに身を包み記念すべき節目を迎えました。また、古河大使の浅野恭司さんや体操選手の山室光史さん、俳優の山中崇史さんからビデオメッセージで祝福を頂きました。

※民法改正に伴い、成人式典の名称を二十歳のつどいに改めました。

